

## 編集後記

< 輸送機用材料・機器技術特集を終えて >  
\* 本特集号では、自動車、鉄道、航空機など輸送機に関連した材料と機械製品につき紹介いたしました。これまで「造船・建築・橋梁用材料特集 (Vol.52, No.1)」や「自動車用材料特集 (Vol.52, No.3)」などで輸送機関連の記事を掲載してきましたが、それらだけでは紹介しきれないほどの数の製品や技術があり、今回の特集を組むことになりました。  
\* 輸送機産業は誠に進展著しい産業であり、数々の新技術が生まれる宝庫とも言えます。当社も、材料・機械メーカーとして輸送機関連商品を数多く提供していますが、本特集を組んで改めてこの産業への関わりの深さを認識しました。  
\* 記事は、鉄鋼、アルミ、チタンなどの材料分野、タイヤ機械、新交通システムなどの機械分野から計 23 件を掲載しました。当社は鉄鋼材料だけでなく、非常

に幅広く技術を保有していることを理解していただければ幸いです。  
\* 当社の輸送機産業への貢献を具体例で挙げれば、自動車の軽量化・高性能化、航空機の軽量化、タイヤや自動車部品などの生産性向上、新幹線の軽量化・防音、新交通システムの運転システム構築などです。いずれも、輸送機技術の根幹に関与していると言えます。  
\* 今後、経済が急速にグローバル化することは疑いがなく、これに連動して輸送機産業も飛躍的に発展するものと思われます。この流れの中で、当社も各種の技術課題を克服し、より良い製品を市場に提供すべく努力しています。  
\* 本特集号が、読み易くわかりやすいものであったか、テーマ設定が適切であったかなどにつき、読者の方々の忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。  
(中川 知和)

## 次号予告

< 微細組織制御技術特集号 >  
\* 昨今の技術・産業界の話題は、微細組織制御技術 (ナノテクノロジーなど) を抜きにしては考えられない状況になってきており、新聞などでこの言葉を目にしない日は無いと言っているくらいポピュラになってきています。当社も、微細組織制御技術を活用して特性向上を達成している製品・技術を多く有しています。  
\* 特に、製品・部品としての特性発揮に重要な影響を及ぼす表面の特性制御において、種々表面処理技術を駆使した微細組織制御技術は、多くの製品・部品において不可欠な技術になっています。本特集号では、この観点から、AIP+UBMS 複合成膜で形成したナノ積層硬質膜の特性、ダイヤモンド薄膜の微細加工技術、大気圧プラズマ CVD によるアモルファスカーボン成膜、および次世代光ディスク反射膜用 Ag 合金について紹介します。  
\* また、成熟技術と考えられている鉄鋼材料、アルミ合金、銅合金などの金属材料の研究開発においても、微細組織制御の重要性が指摘されています。この観点から、スーパーメタルや超鉄鋼プロジェクトなどのナショプロが遂行されまし

た。新たな解析技術を駆使し、微細組織制御に新たな光を与えることで、新しい現象が見つかる、あるいは材料に関する理解が深まっています。これより、これまで当たり前として使っていた材料においても、新たな特性向上手法が見つかっています。当社においても、微細組織制御の観点から多くの金属材料について取組み、本特集号において、微細組織鋼、TRIP ハイテン鋼板の微細組織、鉄鋼材料のスケール解析、リードフレーム用 Cu-Fe-P 合金、常温超塑性 Zn-Al 合金について紹介します。  
\* 微細組織制御には、分析・解析技術の発展も不可欠です。当社はグループ会社の㈱コベルコ科研と協力して分析・解析技術の高度化についても取組んできました。本特集号においても、いくつかの最新のトピックスについて紹介します。  
\* 当社は「技術立社」をスローガンに、提案能力の高い企業へのチャレンジを続けています。次回の特集号は、当社とグループ企業の技術力についてご理解いただける一助になると確信しています。是非、ご期待ください。  
(家口 浩)

## 編集委員

|          |        |
|----------|--------|
| 委員長      | 宮崎 純   |
| 副委員長     | 中川 知和  |
| 委員       | 泉 博二   |
|          | 井上 憲一  |
|          | 江藤 武比古 |
|          | 木村 雅保  |
|          | 神保 淳一  |
|          | 杉井 謙一  |
|          | 鈴木 克明  |
|          | 松下 行伸  |
|          | 家口 浩   |
|          | 吉村 省二  |
|          | <五十音順> |
| 本号特集編集委員 | 中川 知和  |

## R&D / 神戸製鋼技報

第 54 巻・第 3 号 (通巻第 208 号)

2004 年 12 月 1 日発行

非売品 < 禁無断転載 >

発行人 宮崎 純

発行所 株式会社 神戸製鋼所  
秘書広報部  
〒651-8585  
神戸市中央区脇浜町2丁目10-26  
(神鋼ビル)

印刷所 福田印刷工業株式会社  
〒658-0026  
神戸市東灘区魚崎西町4丁目  
6番3号

お問合わせ先 神鋼リサーチ株式会社  
〒651-0086  
神戸市中央区磯上通4-1-6  
シオノギ神戸ビル7F  
TEL(078) 261-7845  
FAX(078) 261-7843  
eguchi@src.kobelco.ne.jp